【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公表番号】特表2020-503038(P2020-503038A)
【公表日】令和2年1月30日(2020.1.30)
【年通号数】公開・登録公報2020-004
【出願番号】特願2019-535252(P2019-535252)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｆ　47/00　　(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｆ　47/00

【手続補正書】
【提出日】令和2年12月22日(2020.12.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
マウスピースと、
気化可能物質を保持するように構成されるリザーバと、
前記気化可能物質の少なくとも一部を前記リザーバから気化領域へと引き込むように構成され、複数の熱伝動ストランドを含む熱伝導コア、および前記複数の熱伝導ストランドの周囲を包囲する多孔質ウィッキング材料を含み、前記熱伝導コアは前記多孔質ウィッキング材料よりも熱伝導率が高い芯と、
前記気化領域近傍に配置され、前記リザーバから吸引される前記気化可能物質の少なくとも一部を加熱するように構成される発熱体と、
を備える気化装置用カートリッジ。
【請求項２】
前記発熱体は前記芯の少なくとも一部を包囲し、前記多孔質ウィッキング材料は、前記複数の熱伝導ストランドを前記発熱体から電気的に絶縁する、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項３】
前記芯は、前記複数の熱伝導ストランド全体にわたって散在する複数の空隙をさらに含む、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項４】
前記複数の熱伝導ストランドは、熱伝導ストランドの複数のグループに配列され、前記複数の空隙の１つまたは複数は、前記熱伝導ストランドの複数のグループのうちの隣接するグループの間に配置されている、請求項３に記載のカートリッジ。
【請求項５】
前記芯は、前記芯の全体積の少なくとも５％となる空隙容量を含む、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項６】
前記複数の熱伝導ストランドのうちの１つまたは複数の少なくとも一部は、前記多孔質ウィッキング材料の少なくとも１つの外縁部を越えて前記リザーバ内へと延在する、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項７】

前記複数の熱伝導ストランドのうちの１つまたは複数のそれぞれの部分は、前記リザーバ内の前記気化可能物質の少なくとも一部を加熱してその流動性を増大させるように構成される、請求項６に記載のカートリッジ。
【請求項８】
前記芯は、前記多孔質ウィッキング材料と前記熱伝導コアとを半径方向に包囲するスリーブをさらに含む、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項９】
前記複数の熱伝導ストランドのうちの１つまたは複数を前記芯の１つまたは複数の端部において露出させる、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項１０】
前記発熱体が作動すると、前記芯によって前記気化領域へと引き込まれる前記気化可能物質が空気の流れに向かって気化するように、前記芯上に前記空気の流れを向けるように構成される空気吸入通路をさらに備える、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項１１】
前記マウスピースは前記カートリッジの本体における第１の端部に配置され、前記発熱体は、前記第１の端部とは反対側にある、前記本体における第２の端部に配置される、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項１２】
前記熱伝導コアに接続され、前記熱伝導コアの温度を制御するように構成される第２の発熱体をさらに備える、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項１３】
前記複数の熱伝導ストランドは、前記発熱体によって発生した熱からの１つまたは複数の伝導または伝達によって加熱されるように構成される、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項１４】
前記複数の熱伝導ストランドは、前記発熱体の気化温度よりも低い温度に加熱されるように構成される、請求項１に記載のカートリッジ。
【請求項１５】
気化可能物質を保持するように構成されるリザーバと、
前記気化可能物質の少なくとも一部を前記リザーバから気化領域へと引き込むように構成され、複数の熱伝導ストランドを含む熱伝導コア、および前記複数の熱伝導ストランドの周囲を包囲する多孔質ウィッキング材料を含み、前記熱伝導コアは前記多孔質ウィッキング材料よりも熱伝導率が高い芯と、
前記気化領域近傍に配置される発熱体であって、前記発熱体は、気化温度に加熱されて前記気化可能物質の少なくとも一部をエアロゾル化するように構成される発熱体と、
を備える気化装置。
【請求項１６】
前記熱伝導コアに接続され、前記熱伝導コアの温度を制御するように構成される第２の発熱体をさらに備える、請求項１５に記載の気化装置。
【請求項１７】
前記芯は、前記複数の熱伝導ストランド全体にわたって散在する複数の空隙をさらに含む、請求項１５に記載の気化装置。
【請求項１８】
前記複数の熱伝導ストランドのうちの１つまたは複数の少なくとも一部は、前記多孔質ウィッキング材料の少なくとも１つの外縁部を越えて前記リザーバ内へと延在し、前記複数の熱伝導ストランドのうちの１つまたは複数のそれぞれの部分は、前記リザーバ内の前記気化可能物質の少なくとも一部を加熱してその流動性を増大させるように構成される、請求項１５に記載の気化装置。
【請求項１９】
前記複数の熱伝導ストランドは、前記発熱体によって発生した熱からの１つまたは複数

の伝導または伝達によって加熱されるように構成される、請求項１５に記載の気化装置。
【請求項２０】
前記発熱体は前記芯の少なくとも一部を包囲し、前記多孔質ウィッキング材料は、前記複数の熱伝導ストランドを前記発熱体から電気的に絶縁する、請求項１５に記載の気化装置。
【請求項２１】
前記複数の熱伝導ストランドは、前記発熱体の前記気化温度よりも低い温度に加熱されるように構成される、請求項１５に記載の気化装置。
【請求項２２】
マウスピースと、
気化可能物質を保持するように構成されるリザーバと、
前記気化可能物質を前記リザーバから気化領域へと引き込むように構成され、熱伝導コア、および前記熱伝導コアの少なくとも一部を包囲する多孔質ウィッキング材料を含み、前記熱伝導コアは前記多孔質ウィッキング材料よりも熱伝導率が高い芯と、
前記気化領域近傍に配置され、前記リザーバから吸引される前記気化可能物質を加熱するように構成される第１の発熱体と、
前記熱伝導コアに接続され、前記熱伝導コアの温度を制御するように構成される第２の発熱体と、
を備える気化装置用カートリッジ。
【請求項２３】
前記熱伝導コアは熱伝導ロッドを含む、請求項２２に記載のカートリッジ。
【請求項２４】
前記熱伝導コアは複数の熱伝導ストランドを含む、請求項２２に記載のカートリッジ。